平成２８年度　事業報告

Ⅰ．事業概況

世界の経済状況は、新興国や原油安による資源国の経済状況の落ち込みと中国の成長鈍化基調が続く等、今後の見通しは不透明となっており、国内の経済状況においても、一部の業種において景気の回復基調がみられるものの、一般国民が景気回復を実感できるまでには至っていません。

シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、国及び地方公共団体の行財政改革の加速化や度重なる補助事業の見直し等により激変しています。特に国の補助金は、ここ数年徐々に増加していますが、一般会計からの支出が減り、雇用保険特別会計からの支出が大幅に増えつつあることは、一つの懸念材料と思われます。

こうしたなか、当センターでは、「就業機会の拡大」及び「会員の拡充」を最重要課題とし、高齢者の働く力を地域に活かす組織として生涯現役社会の実現を目指しておりますが、平成26年度から中心市街地の賑わい創出にむけた高齢者の居場所づくりを事業目的とした「地域ニーズ対応事業・はなむすびオリオン店」は、補助期間の終了に伴い閉店いたしました。本事業は、「高齢者の、高齢者による、高齢者のためのサービス」を地域住民に浸透させ、地域社会発展の貢献に努めました。

また、地域社会における就労社会参加のための機会を提供する事業として「一般労働者派遣事業・有料職業紹介事業」を積極的に実施し、新たな就業機会の確保に努めました。

当センターは、これからも果たすべき高年齢者の多様なニーズを的確に把握し、地域との連携と公共性の重要性を充分に認識して、今後も地域社会に貢献するため積極的な事業の展開に努めます。

Ⅱ．シルバー人材センター事業

１　就業機会提供事業

（１）会員の状況

年度当初1,613人の会員数でスタートし、ピーク時には1,666人にまで達しましたが、年度末会員数は1,615人となりました。

入会理由は、生きがい・社会参加が117人で全体の 47.2%を占め、次いで経済的理由が48人で全体の19.4%、時間的余裕が42人で全体の16.9%となりました。

退会理由は、加齢が51人で全体の20.7%を占め、次いで前年度一番多かった病気が42人で全体の17.1%、その他で就職が40人で全体の16.3%となりました。

年齢別会員構成は、65歳～69歳が520人で全体の 32.2%と一番多く、次に70歳～74歳が512人で全体の 31.7%となっています。

［会員登録の状況］

区分	当年度（人）			前年度（人）			対比増減（人）			増減率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
入　会	171	77	248	167	83	250	4	△ 6	△ 2	2.4	△ 7.2	△ 0.8
退　会	153	93	246	148	61	209	5	32	37	3.4	52.5	17.7
会員数	1,140	475	1,615	1,122	491	1,613	18	△ 16	2	1.6	△ 3.3	0.1

［入会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
生きがい・社会参加	117 人	47.2 %
経済的理由	48 人	19.4 %
時間的余裕	42 人	16.9 %

健康維持・増進	34 人	13.7 %
仲間作り	5 人	2.0 %
その他	2 人	0.8 %
計	248 人	100.0 %

［退会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
加齢	51 人	20.7 %
病気	42 人	17.1 %
その他で就職	40 人	16.3 %
希望する仕事なし	34 人	13.8 %
会費未納	21 人	8.5 %
家庭の事情（介護等）	17 人	6.9 %
死亡	17 人	6.9 %
転居	10 人	4.1 %
就業機会なし	9 人	3.7 %
センター運営に対する不満	3 人	1.2 %
他団体等への加入	2 人	0.8 %
計	246 人	100.0 %

［年齢別会員構成］　　単位：人

区分	60 未満	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 以上	計
男	0	47	379	370	261	83	1,140
女	0	36	141	142	120	36	475
計	0	83	520	512	381	119	1,615
比率	0.0%	5.1%	32.2%	31.7%	23.6%	7.4%	100%

（２）請負・委任による事業実績

①　受託件数

受託した仕事の件数は、11,186件でした。内訳は、公共事業535件《4.8%》、民間事業(一般家庭含む)10,563件《94.4%》、独自事業88件《0.8%》でした。

②　就業人員

年間就業延人員は、128,583人でした。年間就業実人員は、1,264人で就業率は、78.3%となりました。

③　事業収入

受託事業収入は、660,757,950円となり、前年度との比較では11,623,940円《1.8%》増の実績となりました。

職群別契約金額の主なものとしては、除草や屋外雑役など一般作業群が最も多く、314,255,114円《46.7%》、次いで駐輪場・駐車場整理など管理群の218,872,494円《33.1%》、３番目が植木せん定、毛筆筆耕など技能群の83,576,216円《12.6%》、以上の３職群で全体の92.4%を占めています。

［事業実績］

区　分		受託件数（件）	延人員（人日）	契　約　金　額　（円）			
				配分金	材料費	事務費	契約金額
技　　術		31	331	1,337,730	0	129,001	1,466,731
技　　能		2,363	9,521	64,102,555	13,244,276	6,229,385	83,576,216
事務整理		551	4,299	13,375,694	0	1,262,834	14,638,528
管　　理		449	36,375	169,363,362	32,007,508	17,501,624	218,872,494
折衝外交		69	751	3,214,751	9,562	321,692	3,546,005
一般作業		6,332	68,895	276,639,897	10,658,753	26,956,464	314,255,114
サービス		1,391	8,411	22,026,279	254,394	2,122,189	24,402,862
合　計		11,186	128,583	550,060,268	56,174,493	54,523,189	660,757,950
公　　共		535	38,713	199,432,697	38,001,548	20,141,678	257,575,923
民間	企　　業	3,733	65,029	240,071,314	2,081,069	23,585,732	265,738,115
	家　　庭	6,830	24,048	109,138,006	15,945,173	10,669,010	135,752,189
独　　自		88	793	1,418,251	146,703	126,769	1,691,723
合　計		11,186	128,583	550,060,268	56,174,493	54,523,189	660,757,950

（３）一般労働者派遣事業

一般労働者派遣事業は、60歳以上の派遣労働を希望する会員に対し、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る派遣労働を提供する事業です。当センターも平成26年10月から事業提供を始めました。

区　分	27年度	28年度	増　減
派遣登録者数	43 人	32 人	△ 11 人
派遣先件数	16 件	21 件	5 件
労働実人員	46 人	49 人	△ 3 人
就業延人員	2,237 人日	4,372 人日	2,135 人日
契約金額	10,256,777 円	23,178,951 円	12,922,174 円
協力費額	879,205 円	1,908,633 円	1,029,428 円

（４）職業紹介事業

職業紹介事業は「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る雇用就業を提供する事業です。実績については以下のとおりです。

区　分	27年度	28年度	増　減
求人事業所	21 件	7 件	△ 14
求人数	50 人	65 人	15
就職件数	9 件	9 件	0
就職人数	13 人	9 人	△ 4
賃金額	1,044,108 円	2,250,674 円	1,206,566 円
手数料	112,748 円	243,368 円	130,620 円

2　就業機会確保事業

（１）普及啓発事業

会員増強及び就業開拓の一環として年間を通してＰＲを展開するとともに、以下の事業に取り組みました。

①　ホームページ上でシルバー事業を、入会希望者並びに発注者へ向けた内容でわかりやすく紹介し、就業機会の一層の発掘に努めました。

②　会員による「口コミ運動」を実施しました。

③　公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会主催「シニアワークプログラム地域事業」・「高齢者活躍人材育成事業」の合同面接会に参加し入会促進に努めました。（調理アシスタント他3回）

④　シルバー人材センター事業普及月間の10月に、ボランティア活動を以下のとおり実施しました。

期　日	ボランティア内容	参加人数
10月19日	上河内地域奉仕作業	54 人
10月31日	河内地域奉仕作業	44 人

⑤　会報「シルバーだより」を発行し（平成28年10月1日）、全会員に配布しました。

⑥　10月に市役所市民ホールで「シルバー人材センターパネル展」(4日間)を開催し、シルバー人材センター事業の普及に努めました。

⑦　みやシニア活動センターなど高齢者の健康と生きがい作りを推進する団体と連携を強化し、センター事業の周知を図りました。

（２）安全・適正就業推進事業

〈安全就業推進事業〉

会員の就業時における事故防止策を推進するため、安全委員会を設置し安全就業強化月間の7月と11月に、委員及び職員による就業現場等のパトロールを実施しました。

また、管理業務に就業する会員を中心に消防訓練を実施し、会員の安全意識の高揚に努め、就業案内や技能講習会等においても安全就業の徹底を推進しました。

内容等	期日等	日数・人員
安全パトロール	宇都宮事務局 7月26日・27日・28日 11月10日・28日・30日 北部事業所 7月25日・26日・27日 11月14日・18日・28日	 3日間・延9人 3日間・延6人 3日間・延9人 3日間・延7人
消　防　訓　練	農業構造改善センター 6月19日 12月11日 市営駐輪場 2月22日	 12 人 12 人 13 人

〈会員事故報告〉

安全パトロールを実施することにより、「目標」である「事故撲滅」にむけ、各職群班班長会議において職群班員への周知及び安全意識の啓蒙に努めました。

区　分	27年度			28年度			増　減
	支払日	事故日		支払日	事故日		
	件 数	H27	H26	件 数	H28	H27	
傷害保険	4 件	3 件	1 件	14 件	8 件	6 件	10 件
賠償保険	6 件	6 件	0 件	3 件	3 件	0 件	△ 3 件

〈適正就業推進事業〉

会員及び発注者にパンフレット等でセンター事業のシステムを明示し、適正就業の理解と協力を求めました。

就業規約に基づき、継続就業期間が基準を超えないよう複数会員による交代制（わかちあい）就業を実施するとともに、就業案内等で交代会員の通知・募集を行うことにより、適正就業の推進並びに公平な就業機会の提供に努めました。

請負・委任にそぐわない事業については、依頼主に一般労働者派遣事業や職業紹介事業に切り替えてもらえるよう努めました。また、「シルバー人材センターの適正就業ガイドラインを使用し、役職員への研修や発注者への説明も行いました。

（３）就業開拓事業

① 毎月2回入会希望者を対象とした新入会員説明会を開催し、就業会員の拡充を図りました。

［平成２８年度事業所別入会者数］

宇都宮事務局	北部事業所	計
223 人	25 人	248 人

② 職群班会員等による就業先近隣家庭へパンフレットを配布し、受注拡大の促進に努めました。

③ 下野新聞社から、下戸祭作業所の襖班が12月20日に取材を受け、年末行事の風景として襖張替えの作業の様子が21日に掲載されました。

④ 職群班（植木・除草・ホームサポート等）を中心に事務局・事業所間の連携を深め円滑な事業運営ができるよう体制づくりに努めました。

⑤ センター事業を広く知っていただくため、以下のイベントに参加し、事業のＰＲを積極的に行い就業開拓に努めました。

期　　日	内　　容
5月15日	フェスタｍｙ宇都宮
6月15日	県民の日記念イベント
8月6日～7日	ふるさと宮まつり
10月15日～16日	生涯学習センター文化祭
11月12日	介護の日フェスティバル
11月23日	市民福祉の祭典

（４）研修・講習事業

①　会員の資質向上と就業機会の確保を図るため、以下の研修・講習会を開催しました。

研修・講習会名	講習日程	講習日数	参加延人員
駐輪場接遇研修	7月20日・21日	2 日間	168 人
はなむすび視察・研修	10月12日	1 日間	10 人
ｵﾌｨｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ講習会	12月13日	1 日間	13 人
駐輪場接遇講習会	1月24日・25日	2 日間	178 人
植木せん定講習会	1月24日～26日	3 日間	133 人
植木せん定講習会（北部）	2月23日	1 日間	10 人
襖張替え講習会	3月17日	1 日間	10 人

②　駐輪場管理班、植木班、除草班等でグループミーティングを行い、就業におけるトラブル対策等に努めました。

（５）独自事業

会員の就業機会を確保するため、会員の創意と工夫により以下の独自事業を実施しました。また、イベントに参加し各種ＰＲに務めました。

事業内容	27年度		28年度		増減	
	延人員	金　額	延人員	金　額	延人員	金　額
編みぐるみ創作	632 人	480,137円	492 人	356,023円	△ 140	△ 124,114
刃物砥ぎ	1 人	1,500円	15 人	28,600円	14	27,100
豆ぞうり創作	9 人	5,160円	15 人	4,500円	6	△ 660
石けん製作	128 人	190,150円	162 人	147,000円	34	△ 43,150
門松製作	113 人	1,205,600円	109 人	1,155,600円	△ 4	△ 50,000
計	883 人	1,882,547円	793 人	1,691,723円	△ 90	△ 190,824

（６）相談・調査事業

①　宇都宮事務局においては4月から11月までは月2回、12月から2月までは月1回、また北部事業所においては4月から2月まで毎月1回役員による新入会員説明会後の面談を行い新入会員の就業相談を行うとともに、原則毎週水曜日に世話役及び職員が中心になって就業相談を行い、就業機会の提供に努めました。

区　分	年間開催回数	参加人数
本　　部	49 回	738 人
北　　部	10 回	31 人
合　計	59 回	769 人

（７）地域貢献事業

女性部会のメンバーによる「ぞうきん製作」を行い地域社会への貢献とＰＲに努めました。

期　日	ボランティア内容	参加人数
毎月第4金曜日	ぞうきん100枚製作 福祉施設へ寄贈	5名/回 年4回開催

（８）地域就業機会創出・拡大事業（旧：地域ニーズ対応事業）

中心市街地の空き店舗及び福祉センター４Ｆ喫茶コーナーを活用し、はなむすび「オリオン店」・「福祉センター店」で高齢者の居場所づくり事業を実施し、就業拡大を図りましたが、オリオン店は3年目の3月20日をもって閉店となりました。

店名	就業延人員	売上高
オ リ オ ン 店	156人	1,959,112 円
福祉センター店	803人	3,314,981 円
計	959人	5,274,093 円

（９）高齢者活用・現役世代サポート事業

育児支援分野や地域における人手不足分野等に係る取組みを推進拡大しました。

（１０）介護予防・日常生活支援総合事業

要支援者等に対して実施してきた予防給付（訪問介護・通所介護）について、宇都宮市では新総合事業が段階的に実施されるため、その準備を行いました。

3　法人運営

（１）定時総会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第37回定時総会	平成28年6月17日	議案　1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度決算について 3 役員の選任について 報告　1 平成28年度事業計画について 2 平成28年収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

（２）理事会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第1回理事会	平成28年5月23日	報告　1 専決処分の報告について（平成28年4月） 2 平成27年度事業実績及び業務状況報告について（平成28年3月） 議案　1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度決算報告について 3 平成28年度収支予算の補正（第1号）について 4 役員候補者について 5 地域班世話役の選任について 6 表彰候補者について 7 第37回定時総会の開催について

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第2回理事会	平成28年6月17日	議案　1 理事長、副理事長及び専務理事の選定について
第3回理事会	平成28年9月9日	報告　1 専決処分の報告について（平成28年5月～8月） 2 平成28年度事業実績及び業務状況報告について（平成28年4月～7月） 議案　1 地域班世話役の選任について
第4回理事会	平成28年12月20日	報告　1 専決処分の報告について（平成28年9月～11月） 2 平成28年度事業実績及び業務状況報告について（平成28年8月～11月） 議案　1 地域班世話役の選任について 2 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について 3 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター就業規則の一部改正について
第5回理事会	平成29年3月16日	報告　1 専決処分の報告について（平成28年12月～平成29年2月） 2 平成28年度事業実績及び業務状況報告について（平成28年12月～平成29年2月） 議案　1 平成28年収支予算の補正（第2号）について 2 平成29年度事業計画について 3 平成29年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 4 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局組織規程の一部改正について 5 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務専決規程の一部改正について 6 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について 7 重要な職員の任免について

（３）監査の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
監　　査	平成28年5月11日	平成27年度事業報告及び決算について

Ⅲ．事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。